

KAYUKAI

香友会だより

あいさつ

同窓会会長
松本 康範

香友会員の皆様におかれましては、益々の清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より香友会並び母校の発展のため格別のご理解とご支援を賜りお礼申し上げます。

令和6年度は、コロナ禍でいろいろと制限されていた活動を再開して行きたいと思っています。

高松南高校でも色々な行事がコロナ禍よりも前の状態に戻ってきていると聞いています。

コロナ禍で制限を設けて行事に取り組む中で無駄を見つけることができ、試すことができたといえます。これからの高松南高校は、行事を見直し新しく発展させていこうと取組んでいます。香友会も益々発展をして行きたいと思っています。

令和5年度の総体では、バレーボール部女子、水球部が日頃の努力

の結果、優勝を勝ち取ることができました。相撲部は個人、団体ともに優勝しています。ソフトボール部女子、バスケットボール部女子、剣道部男子団体、弓道部男子団体は準優勝。剣道部女子団体、弓道部女子団体、ハンドボール部男子、ハンド

ボール部女子なども上位入賞をしています。また、バレーボール部女子は四国総体優勝。ソフトボール部女子、ハンドボール部女子は上位入賞をしています。全国総体には、相撲部とバレーボール部女子が出場しました。文化部では、吹奏楽部がマーチングコンテスト三位。総合文化祭では合唱部、美術部、書道部が優秀賞など輝かしい成績を収めることができました。

コロナという辛い悲しいトンネルを抜けた今こそ、同窓の絆を強め、香友会がさらに発展できますよう格段のご支援とご協力お願い申し上げます。

最後に、会員皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げあいさついたします。

あいさつ

校長
吉田 稔

香友会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、母校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心からお礼申し上げます。校長として3年目を迎えました。伝統ある高松南高校に引き続き勤務できることとなり、光栄であるとともに大きな責任を感じております。2年間の経験を活かし、本校の更なる発展に尽力したいと考えています。

令和6年度は高校生853名と専攻科生66名が在籍しております。新型コロナウイルスの5類移行にともない制約のない本来の教育活動を実施できており、かつての活気ある生徒の姿が日々窺えます。勉学や学校行事、部活動をとおして成長し、将来において母校での経験が活かされるよう生徒を応援したいと思っています。



発行者

香川県立高松南高等学校
同窓会会長 松本康範
香川県高松市一宮町531
印刷所 (株) 中央印刷

本校では校舎改築も終え皆様が学んでいた校舎はなくなり、平成31年4月より新しい校舎で授業が行われています。各学科や職員室の配置などは当時と異なっているはずですが、しかし、校庭には皆様にとって懐かしいと思われるものが幾つかあります。例えば、校長室からは美しい花や松の木とともに笹島佐吉元校長先生(昭和6年3月~20年6月)の銅像が見えます。北体育館の前には、平成23年の創立100周年記念時に、昭和54年卒業の小野啓巨様が製作された「時を越えて」と題する像があります。さらに、南校地には「香川縣立香川高等学校、香川縣立香川女子高等学校旧校地跡」の石碑があり、その背後には「昭和16年母校が創立され昭和24年香川縣立香川高等学校(現在の縣立高松南高校)に合併されるまでこの地で勉学にはげました。その間、私達の青春はここで繰りひろげられ、今なお生きつづけています。昭和58年秋 関係者卒業生有志」と刻まれています。私の母は昭和30年代の卒業生ですが、

南校地に校舎がありそこで学んでいたと懐かしそうに話をしていました。校舎は新しくなり当時の面影はありませんが、校内を歩いてみると像や石碑、樹木などが114年の本校の伝統を示しています。4万名を超える卒業生は、香川県内をはじめ全国各地で活躍しています。現在、学校生活を送っている生徒・教職員は、日々のなかで伝統を意識することは少ないですが、石碑や像に接することで、先輩方の想いを感じる機会になることでしょう。

本校は「見つめて未来へ南高」を合言葉に高松南高第2世紀を力強く歩んでいます。そして時代とともにその伝統を重ねさらに発展していきます。会員の皆様には、今後とも一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。機会があれば母校に訪れていただき、先ほど紹介したのを見ることが学生時代を蘇らせてくださいます。香友会の益々の発展と会員の皆様のご多幸とご活躍を心から祈念申し上げます。



南校地の「めばえ」

南高百景

令和5年度高松南高校はコロナの影響がまだありました。始業式はコロナ前と同じように2、3年生が北体育館に入り在校生が一同に集まり式を行いました。4月の遠足はコロナ前のように一年生が金比羅山、二年生が鷺羽山ハイランド、三年生が神戸ハーバーランドと県外にも行くことができました。5月の体育祭で

は、一日をかけて種目を行うことができ、生徒は保護者の前でクラスでまとまり一杯楽しむ姿を見ることができました。総体壮行式では、北体育館に生徒全員が入り、総体に出場する選手を生徒全員で送り出すことができました。野球応援では県内の高校で熱中症などの影響により中止にする学校が出てきたことを考



遠足



入学式



体育祭



えてコロナ前の全校生徒での応援を控え、さらに祝日の試合だったため希望者での応援になりました。暑い中での応援でしたが、野球部、応援団、吹奏楽部、生徒会、希望生徒が一丸となり、選手に応援を送り続けました。南高祭では、車での来場を規制して、公共交通機関でのお願いをする以外は、例年通りの南高祭を行いました。その中で、服の力プロジェクト活動を行いました。子供服が必要な難民の人たちに服を届ける



総体壮行式



全国壮行式

活動で、生徒はボスターなどを作り、出身の保育園や幼稚園に説明を行い、さらに近隣の商業施設で協力をお願いを夏休みを通じて行いました。その成果もあり、南高祭ではたくさんの服を回収することができました。11月にはかがわ産業教育フェアがイオンモール綾川において、看護、環境、生活デザイン、福祉の専門学科が参加して販売や各学科の紹介などのさまざまな活動を行いました。修学旅行は前年度までコロナの



南高祭



南高祭

影響で制限のあるものですが、今年度はコロナ前の東京・札幌での修学旅行になりました。一日目は早朝に高松空港を出発し、羽田空港に着いた後、東京デイズニリゾートと東京観光(浅草・原宿)に分かれて観光を楽しみました。その後、羽田空港から新千歳空港に渡り、札幌市内のホテルで宿泊しました。二日目はテイエスキーパー場でスキー研修を行い、小樽観光を楽しんだ後、アサヒビール園でジンギスカンを堪能し



南高祭





修学旅行



ました。三日目はティネススキー場でスキー研修を行い、札幌観光を楽しみました。四日目はウポポイアイヌ民族博物館でアイヌの人々の歴史を学びました。その後新千歳空港で観光を行い、羽田空港に渡り、高松空港に帰ってきました。雪の影響で大きな変更が出る可能性がありましたが、すべての日程を無事終えることができました。卒業式は高校の卒業式と専攻科の修了式を同時に行いました。卒業生と修了生、保護者が北



修学旅行



体育館に入り、在校生は教室でリモートにより式を見ました。卒業生が退場する時には在校生が北体育館前に花道を作り、卒業生を盛大に送り出しました。

今年卒業した生徒はコロナの影響で、入学した時から色々な制限がある中での学校生活でした。入学式が終わった後に、臨時休校になり、新入生が他の生徒と親交を深める時期に会うことすらできない状況でした。入学した時からマスクを付けて



卒業式



香友会事務局 片山 和隆

の学校生活だったため、素顔を見る機会が3年間なかった生徒もいます。そのような学校生活の中でも生徒は笑顔で楽しんで行動している姿が印象的でした。

行事に関してはコロナ前に戻ってきました。コロナの間にいろいろと精査することができ、改良すれば無駄が省けてさらに学校生活が良くなる活動を考えることができました。コロナでいろいろと失うものがありましたが、それをただ悲しむのではなく、さらに高松南高校が発展できるように進んでいくことが重要だと感じました。

ヒマラヤ杉二世



令和六年五月現在のヒマラヤ杉二世の生育状況をお伝えしたいと思います。素晴らしい景観で高松南高校を見守っています。

樹高は五メートルを超えて成長しています。生育状態は良好です。

令和六年度 南高祭

去年に引き続き、今年も一般公開を行う予定です。駐車場を設けませんので、公共交通機関での来校をお願いいたします。日程は九月七日(土)です。

令和六年度 高松南高等学校定期演奏会

八月十二日(月・振替休日)十八時三十分開演予定です。場所はサンポートホール高松大ホールになります。今年には四十五回記念演奏会です。一般の方々の入場を予定していますので、ぜひご来場ください。

支部だより

〈一宮支部だより〉

一宮支部 齋藤 和子

一宮支部は、南高校の地元地区で、私たち支部から元気を発信していくという大切な役目がある支部です。そんな重要な役目がある支部の会計担当を、本年度から拝命させていただくことになりました。今まで、仕事にかまけて地域のことや同窓会のことに協力できていませんでしたが、これを機に支部の皆さまと一緒に活動したいと思っています。

今から4年ほど前、コロナ感染症拡大前は、自分が担当するご家庭を訪問して会費を集めておりました。直接、お会いして話をしながら楽しくまわっておりましたが、コロナ禍になり、それもできなくなりました。昨年、5類に移行してから少しは緩和されましたが、まだまだ以前通りとまではいかないことが多く、支部としても悩ましい限りです。

新しく会に入ってくださる方もなく、どのような方法で新会員さんを集めるかが重要な課題だと思います。もちろん今は、目玉になる活動は無いので、呼びかけることが難しいですが、今この時を色々と考えることができる期間と捉え、支部の方々と知恵を出し合っていきたいと思っています。伝統ある南高校の同窓会「香友会」を守り、元気にするために頑張りますので、よろしく願いいたします。

一宮支部総会

日時 8月4日(日)

午前9時

場所 田村神社会館 控室

卒業生リレー寄稿 ②〇

三年先の稽古



令和4年3月
環境科学科卒
谷澤 慶大

私は令和4年3月に高松南高校環境科学科(農業土木コース)を卒業後、香川県庁農業土木職に就職し、現在は大田池や農業用水路の改修工事・圃場の大区画化など、農業のための土木施設を丈夫に使いやすくする仕事をしています。

私が南高の環境科学科に入学した理由は農業の為に仕事をしたかったと思っていたからです。入学当初は、野菜を育てることしか農業の為にやる事はないと思っておりましたが、土への進級を希望していましたが、土木の勉強・実習をしていくうちに土木の力で農業をしやすい環境をつくれる事を知り、農業土木コースに進級しました。農業土木コースで設計・測量・施工の基礎知識、実習では「測量機器の使い方」、「コンクリートの破壊実験」、「土の密度試験」等を学べたことは、今の農業土木の仕事をする中でとても活かしていると実感しています。

また、部活動は相撲部に所属して

出会いを大切に



平成26年3月
専攻科看護科修了
真鍋 佑衣

私は、平成26年に南高校専攻科看護科を修了しました。学生時代を振り返ってみると、思い出すのはやはり病院実習。毎日始発の電車で病院に行き、実習後夜遅くまで記録をし、自宅に帰ってもまた記録・・・だった日々を思い出します。実習中にたくさんの方の患者さんと出会い、最初はぎこちなかったコミュニケーションも次第にスムーズに患者さんとお話ができるようになりました。今でも学生時代に受け持たせていただいた患者さんのことを時々思い出し、あの時に受け持たせていただけたことに感謝しています。

専攻科卒業後は、屋島総合病院に就職しました。その後、夢だった助産師を目指し進学しました。それから助産師として7年間、たくさんの方の命の誕生の瞬間に立ち会わせていただきました。出産は、新しい命が誕生する瞬間でもあり、家族が生まれる瞬間でもあります。出産の主役はお母さんと赤ちゃんです。助産師は

りの生徒や先生方との出会いを大切にしながら、生徒に寄り添い、いつも笑顔で頑張ります。

今の私



平成31年3月
福祉科卒
木下 佑華

黒子となってサポートします。7年間助産師として勤務する中で私が心がけていたことは、「お母さんに寄り添い、いつも笑顔で、話しやすい助産師」であることです。妊娠中には急激な体の変化、出産時には陣痛の痛み、産後には寝不足など、どの場面においてもお母さんは大変です。私は助産師としてお母さんたちのサポートをする中で、いつでも、何でも話しやすい助産師になれるよう心がけました。

助産師はお母さんと赤ちゃんの2人分の命を預かっており、その分責任も重く、時にはその責任に押しつぶされそうになることもありましたが、しかし、その中でも助産師という仕事にやりがいを感じ、この仕事が好きだなと思いつけることができたのは、「ありがとう」というお母さんたちの言葉があったからです。助産師という仕事は決して楽な仕事ではありませんが、お母さんたちからの嬉しい言葉があったからこそ頑張ることができました。

私は昨年より母校である高松南高校で教員として勤務しています。教えることの難しさや授業準備の大変さを日々痛感していますが、新しい職種・職場で楽しく働いています。人の心は、十人十色です。患者さん一人ひとり、好みも違えば、性格も異なります。生徒には実習で出会う患者さんとの縁を大切にしながら、受け持たせていただいたことに感謝し、日々関わってほしいと思っています。私も、これから一人ひとりの生徒や先生方との出会いを大切にしながら、生徒に寄り添い、いつも笑顔で頑張ります。

私は平成31年度に福祉科を卒業しました。幼い頃から介護の仕事に興味があり、南高校では卒業とともに介護福祉士の資格を取得できると聞き入学しました。正直、学校がサポートしてくれるのだから資格も楽に取れるのではと考えていた時もありました。しかし、現実には甘くなく、充実したカリキュラムや実習のおかげで目がまわるような3年間が待っていました。様々な福祉施設の現場で実習をさせていただくのは確かに多くの学びがありましたがその分責任感を持たなければならぬ場面も多く、初めて利用者さんの体に触れる時は口から心臓が飛び出るのではなにかと思うほど緊張しました。3年生になる頃には緊張にも慣れてくる：なんて事ではなく最後まで多くの課題を抱えながら実習に取り組んでいたなと思います。そんな私も今は専門学校で歯科衛生士の資格を習得し、歯科診療所で実務経験を積んでいます。一見全く別の職種と考える歯科に興味を持ったのは介護実習がきっかけでした。2年生の時、実習で介護福祉士以外の福祉業務に関わる方からお話を聞かせていただく機会が

高松南高校剣道部



平成5年3月
普通科卒
小野 雅史

あり、その時、歯科衛生士の業務内容や歯科医療と福祉の深い関係性について知りました。卒業したら介護福祉士として働くと考えていた私はその話を聞き、自分が他の専門的知識を学ぶことは、それまで学んできた介護の知識を無駄にする訳ではなく、より広い視野で福祉業務に関われるようになるのだと考えるようになりました。歯は人間が生きていく上でとても重要で、会話や食事の際に大きく関わってきます。そのため、小さな子供から高齢者の方までが歯科医院に訪れ治療や予防を行います。そんな時に高校で学んだ介護技術や知識を活用すると、患者さんよりも安心した状態で診療を受けることができていると私も自分が学んできたことを誇りに感じます。将来的には、訪問歯科診療など福祉と歯科両方の知識と経験を活かせる仕事に携わっていきたいと考えています。また、弟も私と同じく南高校の福祉科に進学し、現在は介護福祉士として介護の現場で働いています。いつか、ケアマネジャーの資格を取得し、福祉の仕事の深い部分に関わりたいたいと話していました。弟から仕事の話を聞く度いつか一緒に働けたら良いねと話している今日この頃です。目標がただの夢にならないようこれからも日々努力を重ねていきます。

私が中学3年生だったとき、丸亀市でインターハイの剣道競技が開催され、高松南高校は団体戦・個人戦で第3位に入賞しました。そのときの団体戦メンバーのうち、二人はただ2年生でしたので、私はそのような先輩方と一緒に稽古がしたいという強い思いから、高松南高校への進学と剣道部への入部を決意しました。

入部すると、厳しい稽古の日々が待っていました。強くなりたいという気持ちや、ライバルでもある多くの仲間にも恵まれたことなどで、充実した日々を送ることができました。

そして、先生や仲間、周囲の人たちの支えのおかげで、高校2年時にはインターハイ団体・個人出場、高校3年時には国体出場などの結果を残すことができました。

また、3年時の国体出場後は、クラスメイトとの交流を深め、部活動以外の高校生活も楽しむことができました。

その後、剣道の強豪校と呼ばれる大学に進学し、就職後も剣道を続け、現在は、少年剣道の指導にも携わりながら、勝敗を超えた部分にも剣道の魅力や奥深さを感じつつ、自身の修行をしているところです。

これまでの人生には楽しいことがたくさんありましたが、苦しいことやつらいこともたくさんありました。しかし、その都度、私なりに苦難を乗り越えられてきたのは、周囲の人たちの支えや、南高で過ごした3年間があったからだと思います。今でも南高剣道部の活躍は気になります。また、他の部活動の活躍も気にしています。たまにですが、剣道部の稽古にお邪魔することもあります。このように、卒業からかなりの年月がたった今でも、高松南高校のことが気になります。これは、私にとつて、南高での3年間で有意義なものであったからこそ感情なのかと思います。

在校生のみなさん、今、つらいと思ったり苦しいと思ったりしていることも、後になれば、大抵のことは良い思い出に変わっていくものです。大きな気持ちを持って、人生を楽しんでください。

その中で、ただ表面上の楽しさだけを求めるのではなく、困難なことにも挑戦し、南高生として後悔のない、心の底から楽しいと思える3年間を過ごし、良い思い出を増やしていただきたいと思っています。私もそのようなみなさんに力をいただきながら、今後の人生を更に充実させていきます。

最後になりますが、このような原稿を執筆させていただき、誠にありがとうございます。そのおかげで、南高での思い出を多く振り返ることができました。「尽善日進」

今の私



令和4年3月
生活デザイン科卒
坂本 彩

私は令和四年三月に高松南高校の生活デザイン科の健康栄養コースを卒業しました。

私は小さい頃からお菓子作りが好きで将来パティシエールになりたいと思っており、中学からの進路を決める際に南高を選んだ理由は、食に関わる資格を取得できるという点に魅力を感じたからです。知識や技術を身につけるだけではなく資格を取得することで将来役に立つ時が来る

と思います。高校生活3年間で食物技術検定一級や食生活アドバイザー検定など様々な資格を取得しました。検定の勉強と、部活動の両立はとても大変でしたがコツコツと勉強を重ねて合格することが出来ました。何度も過去問や実技練習を行ってくださった先生方や大変なことも沢山あったけれど一緒に最後まで乗り越えた健康栄養コースの仲間のおかげで取得できたと思います。検定の中で一番思い出に残っているのは一級で行ったコース料理です。制限時間や決められた条件の中でどんな料理を作るかだけではなく、使う食材の色味や栄養素、カロリーなどを一から考える所からのスタートだったため、とても大変でした。また実技だけでなく、筆記試験もあったので覚えることが多く苦戦しましたが、そ

の分合格した時の喜びは大きかったです。

卒業後は、もっと知識を深めたいと思い調理と製菓の両方を学ぶことが出来る調理技術専門学校に進学しました。高校で食物に関する基礎知識を学んでいたため勉強面ではスムーズに学校生活を送ることが出来ました。技術の面では高校の時よりもさらに専門的な技術を学ぶ機会が多く、習得まで時間がかかる事もありましたが、努力を重ね調理師免許を取得することが出来ました。

現在はこれまでの経験を活かし小さい頃からの夢でもあったパティシエールとして県内の洋菓子店に勤務しています。まだ入社して間もないので毎日いろいろなことを学び覚えることに必死ですが、お客さまに笑顔になつていただけるようなお菓子を作れるように「継続は力なり」という言葉を大切にしていきたいと思っています。

最後になりましたが、どんな時も周りへの感謝や思いやりの気持ちを忘れず、今しかない時間を大切に高校生活を楽しんでください。そして自分の経験を通して、夢は努力を重ねることで叶えることができるのだと皆さんに伝えたいです。最後までお読みいただき、ありがとうございます。

令和5年度のおもな成績

〈相撲部〉

- 県総体 団体 優勝
個人 優勝

〈水球部〉

- 県総体 優勝

〈バレーボール部(女子)〉

- 県総体 優勝
- 四国総体 優勝
- 県選手権 第4位

〈ソフトボール部(女子)〉

- 県総体 準優勝
- 四国総体 第3位

〈バスケットボール部(女子)〉

- 県総体 準優勝
- 県選手権 準優勝

〈剣道部〉

- 県総体 男子団体 準優勝
女子団体 第3位

〈弓道部〉

- 県総体 男子団体 準優勝
女子団体 第3位

〈ハンドボール部(男子)〉

- 県総体 第3位

〈ハンドボール部(女子)〉

- 県総体 第3位

〈書道部〉

- 全国書道展 特選、準特選
- 国際美術展 奨励賞
- 国際選抜書展 入選

〈美術部〉

- 香川県高校総文祭展覧会美術・工芸展 奨励賞

〈吹奏楽部〉

- 全日本吹奏楽コンクール 香川県大会A部門 銅賞
- 全日本マーチングコンテスト 香川県大会 銀賞

〈合唱部〉

- 全日本合唱コンクール香川県大会 銅賞
- 県総文祭「合唱の祭典」 奨励賞

〈放送部〉

- 香川県高校放送コンテスト 創作ラジオドラマ部門 第2位
- 香川県高校総文祭放送部門発表会 ビデオ番組部門 第3位



令和六年三月卒業生

看護科 三十四名

環境科学科 三十三名

生活デザイン科 三十名

福祉科 二十七名

普通科 百三十九名

合計 二百六十三名

専攻科看護科修了生 三十三名

今年から新たに同窓会(香友会)に加わった人数です。

南高校出身力士

○大喜翔

五月場所

番付 西幕下三十七枚目

○大翔宗

五月場所

番付 東三段目八十枚目

○大翔碧

五月場所

番付 東序二段五十三枚目

○大皇翔

五月場所

番付 西序ノ口八枚目

四人の南高校出身力士を香友会でも応援していきたいと思います。

パルマ市との青少年交流事業
イタリアの学校って凄い!

環境科学科2年

山田 隼月

私は、昨年11月2日から7日間、イタリア・パルマ市との、青少年交流事業に参加しました。交流事業では、イタリアチーズの王様と呼ばれるイタリア・レッジャーノの工場見学や、パルマ市の祭典であるノーベンバーポークという豚祭りに参加しました。そのような中、私は、日本とは違い、高校が所有する会社で実際に働き、働き方を知った状態で就職出来るポツキヤリーニ高校に強い魅力を感じました。高校卒業後、働きたいと考えていた私でしたが、進学し、アルバイトなどで「働く」という経験を持つてから就職するのも良いのかもしれないと、考え方の視野が広がり、日本とは違う社会経験の積み方に、感銘を受けました。何より勇気を出してイタリアへ行き、日本とは違うものを見ることが出来てよかったです。イタリアでの交流事業をはじめとした様々な経験を通し、現時点でも自身の心身の成長を感じます。残り約1年半の高校生活も、自身の心身の成長へと繋がる経験をしていきたいです。

卒業生情報

令和3年度3月 環境科学科卒業

白川 大陽

高松南高校を卒業後、日本大学相模部に入部。4年次にはレギュラーとして活躍。大学卒業後、追手風部屋に入門、両国国技館で行われていた5月場所にて大皇翔(だいこうしょう)として西序ノ口8枚目で番付にのりました。



図書館紹介

令和元年春に新設された図書館も今年で六年目を迎え、学校のオアシス的な存在となっています。緑を基調とし、木のぬくもりを感じさせる図書館は、生徒にとっては心を安定させて集中して学習に取り組める環境となっています。

本校は、令和五年度から二年間、教育委員会から「読書活動の推進」に係る研究指定を受け、学校全体で読書に親しみ、図書館を活用する取り組みを進めています。図書館が指定を受けたことにより、図書館、更には全校生徒が学習や読書にたいして前向きになり、学校全体がより良い環境となることを目指しています。

九月に開催される文化祭では、

四年度は図書館に恐竜を出展させ、五年度には宮沢賢治の「注文の多い料理店」を再現させる等、これまで疎遠であった図書館を身近に感じてもらうような工夫を凝らしています。図書館前の「憩いの広場」は、名前のごとく季節の花で満開になり、読書や昼食を楽しめるスペースとなりつつあります。

卒業生の皆さまもいたるところに楽しい仕掛けが施された図書館にぜひ足をお運びください。





令和6年度香友会評議員会及び 総会の開催について (ご案内)

向暑の候、会員各位におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと、お慶び申し上げます。同窓会(香友会)の通常総会を下記日程にて開催いたしますので、友人、知人、お誘いの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|----------------------|
| 1. 日時 | 令和6年8月4日(日) 10:00～ | 2. 場所 | 評議員会・総会・懇親会 田村神社会館 |
| 3. 日程 | 9:30～10:00 受付 | 4. 議事 | ①令和5年度事業報告並びに会計決算報告 |
| | 10:00～11:00 評議員会・総会 | | ②令和6年度事業計画並びに会計予算(案) |
| | 懇親会 | | ③その他 |

懇親会の会費は4,000円になります。

●恐れ入りますが、準備の都合上、ご出席いただける方は **7月11日(木)** までに、電話、ファックス等で事務局までご連絡下さい。

香川県立高松南高等学校香友会事務局

梶原 伸 治

TEL(087)885-1131 FAX(087)885-1133

----- 切り取り線 -----

FAX 送付書 (高松南高等学校 FAX 番号 087-885-1133)

令和6年 月 日

香川県立高松南高等学校香友会事務局宛

送信者ご芳名

ご 住 所

T E L

令和6年度香友会総会 令和6年8月4日(日) 10:00～

() 出席します

・その他連絡事項